

V 火災

令和3年1月から令和3年12月までの火災概要

(1) 火災概要

令和3年1月から令和3年12月までにおける火災概要は、火災件数34件、焼損棟数15棟、焼損床面積806㎡、焼損表面積20.5㎡、車両3台、その他の空地田畑等の焼損面積14,088㎡、り災世帯数10世帯、り災人員19人、損害額25,533千円、死者2人、負傷者2人となっている。

(2) 出火件数は減少、1ヶ月平均2.8件発生

建物火災は全火災の35%、その他の火災は全火災の53%

出火件数は34件で前年より29件の減少がみられる。

火災の発生状況を火災種別ごとにみると、その他の火災が18件（53%）と最も多く、次いで建物火災12件（35%）、車両火災3件（9%）、林野火災1件（3%）となっている。これらを前年と比べると、建物火災は同数、林野火災5件減少、車両火災は1件増加、その他の火災は25件減少となっている。

(3) 損害額と焼失面積、焼損棟数

令和3年中の損害額は25,533千円で、前年より1,935千円増加した。

損害の内訳は、建物火災による損害が全体の99%で、車両火災1%となっている。

建物焼損床面積は806㎡で前年に対し4㎡の増加、建物焼損表面積は20.5㎡で前年に対し68.5㎡の減少となっている。

その他の火災の空地、田畑等の焼損面積については14,088㎡で前年より10,866㎡の減少となっている。

焼損棟数は15棟で前年に対して9棟の減少、り災世帯は10世帯で前年より2世帯減少となっている。

(4) 出火原因

令和3年中の全火災34件を出火原因別にみると「たき火」が11件と全火災の32.3%を占め「火入れ」「調査中」「不明」の順になっている。

また、「火入れ」と「たき火」が全火災の58.8%を占めており、過去10年間においても上位を占めている。

これは田畑の枯れ草焼等からの火災が主なものであり、熊毛地区管内（種子島）でよくみられるサトウキビのハカマ焼きの火災（5件）も含まれる。

(5) 死傷者

令和3年中の火災による死者は2人発生している。

負傷者は2人発生しており、前年より4人減少している。

(6) 出火率（人口1万人当たりの出火件数）

令和3年中の全国平均は2.77件で、最も高いのは大分県の4.25件、続いて宮崎県の4.14件である。一方、最も低いのは富山県の1.60件である。

当熊毛管内は8.41件で、西之表市6.71件、中種子町23.15件、南種子町5.4件、屋久島町7.53件となっており、全国平均及び県平均より大幅に高い傾向にある。

1 令和3年 火災一目統計

★ 火災件数

全国	35,077件
鹿児島県	637件
熊毛地区消防組合	34件

★ 死傷者数

全国	死者 1,400人	負傷者 5,369人
鹿児島県	死者 29人	負傷者 85人
熊毛地区消防組合	死者 2人	負傷者 2人

★ 火災世帯数

全国	17,614世帯
鹿児島県	254世帯
熊毛地区消防組合	10世帯

★ 損害額

全国	72,720,770千円
鹿児島県	860,456千円
熊毛地区消防組合	25,533千円

2 火災概況

[1] 熊毛地区消防組合（令和2年と令和3年の1月から12月までの比較）

区分	年別	令和2年	令和3年
火災件数		63 件	34 件
	建物火災 (うち住宅)	12 件 (7 件)	12 件 (7 件)
	林野火災	6 件	1 件
	車両火災	2 件	3 件
	船舶火災	件	0 件
	航空機火災	件	0 件
	その他火災	43 件	18 件
焼損棟数		24 棟	15 棟
	全 焼	7 棟	6 棟
	半 焼	4 棟	1 棟
	部分焼	9 棟	1 棟
	ぼ や	4 棟	7 棟
建物焼損床面積		802 m ²	806 m ²
建物焼損表面積		89 m ²	21 m ²
林野焼損面積		77 a	0.25 a
その他空地・田畑等焼損面積		24,954.0 m ²	14,088.0 m ²
損害額		23,598 千円	25,533 千円
り災世帯		12 世帯	10 世帯
	全 損	6 世帯	7 世帯
	半 損	世帯	世帯
	小 損	6 世帯	3 世帯
り災人員		28 人	19 人
死 者		1 人	2 人
負傷者		6 人	2 人
1日平均火災件数		0.2 件	0.1 件
1ヶ月平均火災件数		5.3 件	2.8 件
1ヶ月平均焼損棟数		2.0 棟	1.3 棟
1ヶ月平均焼損床面積		66.8 m ²	67.2 m ²
1ヶ月平均損害額		1,967 千円	2,128 千円
1ヶ月平均り災世帯		1.0 世帯	0.8 世帯
1ヶ月平均り災人員		2.3 人	1.6 人

[2] 各市町別

区分	市町別			
	西之表市	中種子町	南種子町	屋久島町
火災件数	10 件	13 件	4 件	7 件
建物火災 (うち住宅)	2 件 (1 件)	2 件 (2 件)	3 件 (2 件)	5 件 (2 件)
林野火災	件	件	件	1 件
車両火災	件	2 件	件	1 件
船舶火災	件	件	件	件
航空機火災	件	件	件	件
その他火災	8 件	9 件	1 件	件
焼損棟数	2 棟	3 棟	4 棟	6 棟
全 焼	1 棟	2 棟	3 棟	0 棟
半 焼	棟	棟	棟	1 棟
部分焼	棟	棟	棟	1 棟
ぼ や	1 棟	1 棟	1 棟	4 棟
建物焼損床面積	177 m ²	201 m ²	325 m ²	103 m ²
建物焼損表面積	m ²	1 m ²	0.1 m ²	19.38 m ²
林野焼損面積	a	a	a	0.25 a
その他空地・田畑等焼損面積	9,663 m ²	4,345 m ²	80 m ²	m ²
損害額	13,883 千円	5,570 千円	4,294 千円	1,786 千円
り災世帯	1 世帯	2 世帯	4 世帯	3 世帯
全 損	1 世帯	2 世帯	3 世帯	1 世帯
半 損	世帯	世帯	世帯	世帯
小 損	世帯	世帯	1 世帯	2 世帯
り災人員	2 人	2 人	7 人	8 人
死 者	人	2 人	人	人
負傷者	1 人	人	人	1 人
1 日平均火災件数	0.03 件	0.04 件	0.01 件	0.02 件
1 ヶ月平均火災件数	0.8 件	1.1 件	0.3 件	0.6 件
1 ヶ月平均焼損棟数	0.2 件	0.3 件	0.3 件	0.5 件
1 ヶ月平均焼損床面積	14.8 m ²	16.8 m ²	27.1 m ²	8.6 m ²
1 ヶ月平均損害額	1,156.9 千円	464.2 千円	357.8 千円	148.8 千円
1 ヶ月平均り災世帯	0.1 世帯	0.2 世帯	0.3 世帯	0.3 世帯
1 ヶ月平均り災人員	0.2 人	0.2 人	0.0 人	1.0 人

3 月別火災発生状況

種別 月別	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	合 計
1月						2	2
2月	1					5	6
3月	3		1				4
4月		1				2	3
5月	1		1			1	3
6月	1						1
7月							
8月	2					1	3
9月	1						1
10月			1			2	3
11月	2					2	4
12月	1					3	4
合 計	12	1	3			18	34

4 曜日別火災発生状況

種別 曜日	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	合 計
日	1					5	6
月	4					4	8
火	2		1			5	8
水	2		1			1	4
木	1	1				1	3
金	1					1	2
土	1		1			1	3
不明							
合 計	12	1	3			18	34

5 時間別火災発生状況

種別 時間帯	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	合計
0時から1時未満	1						1
1時から2時未満	1						1
2時から3時未満							
3時から4時未満							
4時から5時未満							
5時から6時未満	1						1
6時から7時未満	1						1
7時から8時未満							
8時から9時未満						1	1
9時から10時未満							
10時から11時未満	1		1			1	3
11時から12時未満						2	2
12時から13時未満	1					1	2
13時から14時未満						2	2
14時から15時未満			1			3	4
15時から16時未満						1	1
16時から17時未満	1					2	3
17時から18時未満	1	1				2	4
18時から19時未満	1					1	2
19時から20時未満						2	2
20時から21時未満			1				1
21時から22時未満	2						2
22時から23時未満							
23時から24時未満	1						1
不明							
合計	12	1	3			18	34

6 建物用途別火災発生状況

用途区分	棟数	火元の焼損区分				延焼区分		
		全焼	半焼	部分焼	ぼや	全損	半損	小損
専用住宅	8	5			2	1		
併用・兼用住宅	1		1					
共同住宅								
劇場・集会場等（1項イ・ロ）								
キャバレー・遊技場・カラオケボックス等 （2項イ・ロ・ハ）								
料理店・飲食店等（3項イ・ロ）								
店舗・百貨店等（4項）	2				2			
ホテル・旅館・寄宿舎等（5項イ・ロ） ※共同住宅を除く								
病院・診療所・助産所（6項イ）								
老人ホーム・障害者支援施設等（6項ロ）								
老人サービスセンター・保育所等（6項ハ）								
幼稚園・特別支援学校（6項ニ）								
小・中・高等学校等（7項）								
図書館・博物館（8項）								
公衆浴場等（9項イ・ロ）								
車両停車場・航空機発着場等（10項）								
神社・寺院等（11項）								
工場・作業場等（12項イ・ロ）	1			1				
車庫・格納庫等（13項イ・ロ）								
倉庫（14項）								
事業所等（15項）								
複合用途防火対象物（16項イ・ロ）	2				1			1
その他の建物・工作物等	2							2
合 計	16	5	1	1	5	1		3

7 出火箇所別火災発生状況

出火箇所		件数		出火箇所		件数		
		令和2年	令和3年			令和2年	令和3年	
建物等に 関する 箇所の	居室	3	1	林野	原野	1	1	
	押入・納戸				牧屋			
	玄関		1		天然林	2		
	広間・ホール				人工林	1		
	廊下	1		車関する 両・船舶 に	機関部分			
	台所	2			運転席			
	寝室				車両外周部	1	1	
	便所				荷台・トランク			
	浴室	2	1	その他	その他		1	
	洗面所				置場			
	洗濯場				電柱類			
	トイレ				門・さく等			
	湯沸室（場）				競技場			
	作業場・工場	2			道路			
	調理室（場）				トンネル			
	ステージ・舞台				広告塔			
	機械・設備室				やぐら			
	車庫				河川敷等	3		
	屋内駐車場				荒れ地	2	1	
	屋外駐車場				空地			
	一般倉庫	2			田畑	17	11	
	危険物倉庫・貯蔵庫				土手		1	
	材料・燃料置場				墓地			
	店舗・客室部分		1		雑木林	3		
	事務室		1		竹やぶ	4	4	
	教育・教養・資料室				火焚場			
	建物外周部				ごみ集積場	1		
	屋根裏・天井裏				敷地内	1		
	休息室				空家			
	養畜舎				その他	4	1	
	上記以外		3		不明	出火箇所不明	11	5
					合計	63	34	

8 出火原因別火災発生状況

出火原因種別	件数	
	令和2年	令和3年
たばこ		
こんろ（うち食用油の加熱着火）	1	
かまど		
風呂かまど	3	
炉		
焼却炉		
ストーブ	1	
こたつ		
ボイラー		
煙突・煙道	1	
排気管		
電気機器	2	
電気装置		
電灯・電話等の配線		
内燃機関		
配線器具	1	2
火遊び	1	
マッチ・ライター		
たき火 ※1	10	11
溶接機・切断機		
灯火	1	
衝突の火花		
取灰		
火入れ ※2	19	9
放火	13	
放火の疑い		
その他	4	4
不明	6	8
合 計	63	34

※1 たき火とは、燃える物を集めて火を入れる行為のこと。

※2 火入れとは、草等を刈ったあとそのままの状態焼却したもののこと。

9 覚知別火災発生状況

[1] 火災種類別

覚知別 \ 種別	建物	林野	車両	その他	船舶	航空機	合計
専用電話(固定)	3	1					4
専用電話(携帯)	2			15			17
加入電話(固定)							
加入電話(携帯)	4		2	3			9
駆け付け							
事後聞知	3		1				4
その他							
合計	12	1	3	18			34

[2] 市町別

覚知別 \ 市町別	西之表市	中種子町	南種子町	屋久島町	合計
専用電話(固定)				4	4
専用電話(携帯)	9	7		1	17
加入電話(固定)					
加入電話(携帯)		5	3	1	9
駆け付け					
事後聞知	1	1	1	1	4
その他					
合計	10	13	4	7	34

10 初期消火の状況

[1] 初期消火の実施状況

器具・方法 \ 区分	実施した		実施せず
	成功	不成功	
各種消火器 ※1	2		/
各種消火設備 ※2			
動力消防ポンプ設備			
乾燥砂			
水バケツ			
水道・浴槽等の水をかける	2	11	
布団・毛布・衣類等で覆う			
たたき消す・もみ消す		4	
溜め水			
土をかぶせる			
その他	1	5	
合計	5	20	

※1 各種消火器とは、水・酸アルカリ・強化液・泡・二酸化炭素・粉末・ハロゲン化物消火器をいう。

※2 各種消火設備とは、屋内消火栓・スプリンクラー・水噴霧・泡・二酸化炭素・ハロゲン化物粉末・屋外消火栓設備をいう。

[2] 初期消火を実施した者

消火者区分	火元の出火行為者	火元以外の出火行為者	火元家族	火元関係者	隣人・付近の者	通行人	その他	合計
件数	14	6		2	2		1	25

11 気象と火災

[1] 天候と火災

天候	火災件数	うち建物火災
快晴		
晴れ	26	8
曇り	7	4
雨	1	
不明		
合計	34	12

[2] 火災警報※1と火災

区分	発令中	発令なし
建物火災		12
林野火災		1
車両火災		3
船舶火災		
航空機火災		
その他火災		18
不明		
合計		34

※1 火災警報とは、消防法第22条第3項（熊毛地区消防組合火災予防条例施行規則第5条）の規定による警報をいう

[3] 風向と火災

風向	火災件数	うち建物火災	風向	火災件数	うち建物火災
北	1		南南西		
北北東	1	1	南西		
北東			西南西	3	
東北東	3	1	西	3	
東	2		西北西	6	2
東南東	1		北西	7	4
南東	2	1	北北西	3	1
南南東			無風		
南	2	2	風速不明		
			合計	34	12

[4] 風速と火災

風速	火災件数	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他
無風状態							
1 m以上 2 m未満	2	1					1
2 m以上 3 m未満	9	5					4
3 m以上 4 m未満	7	1					6
4 m以上 5 m未満	5			1			4
5 m以上 6 m未満	3	1	1	1			
6 m以上 7 m未満	1						1
7 m以上 8 m未満							
8 m以上 9 m未満							
9 m以上10m未満							
10m以上	7	4		1			2
風速不明							
合 計	34	12	1	3			18

[5] 気温と火災

気温	火災件数	うち建物火災
5℃未満		
5℃～9℃	2	1
10℃～14℃	8	2
15℃～19℃	13	5
20℃～24℃	5	1
25℃～29℃	5	2
30℃～34℃	1	1
35℃以上		
気温不明		
合 計	34	12

[6] 湿度と火災

湿度 \ 種別	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	合 計
10%未満							
10%～19%							
20%～29%							
30%～39%							
40%～49%		1				3	4
50%～59%	4		1			6	11
60%～69%	3		1			6	10
70%～79%	1					2	3
80%～89%	2					1	3
90%～99%	1		1				2
100%							
湿度不明	1						1
合 計	12	1	3			18	34

12 過去5年間の月別火災発生状況

月別 年別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
令和3年	2	6	4	3	3	1		3	1	3	4	4	34
令和2年	3	7	4	23	5	2	1	3		7	1	7	63
令和元年	10	1	3	4	6	2	2	1	3	3	5		40
平成30年	4	4	10	6	4	2	1	4	1	3	1	2	42
平成29年	7	9	8	8	5	6	3	1	4	3	1	1	56

13 過去5年間の火災による死傷者発生状況

死者数

種別 年別	建物	林野	車両	航空機	その他	合計
令和3年	2					2
令和2年			1(1)			1(1)
令和元年						
平成30年	3(2)				1(1)	4(3)
平成29年						

※ () 内にあつては、高齢者(満65歳以上)の人数

負傷者数

種別 年別	建物	林野	車両	航空機	その他	合計
令和3年	1				1	2
令和2年	4(1)				2(1)	6(2)
令和元年	2(2)				1	3(2)
平成30年	1(1)				3(3)	4(4)
平成29年	2(1)				3(2)	5(3)

※ () 内にあつては、高齢者(満65歳以上)の人数

14 過去10年間の火災の動向

年別 市町別	平成 24年	平成 25年	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年
西之表市	19	16	16	11	12	14	18	14	33	10
中種子町	11	23	20	13	13	20	12	16	18	13
南種子町	10	18	10	6	5	15	7	7	3	4
屋久島町	6	18	9	4	7	7	5	3	9	7
合計	46	75	55	34	37	56	42	40	63	34

15 火災損害額

単位：千円

月別 \ 種別	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	爆発	合計
1月								
2月	3,219							3,219
3月	1,919		30					1,949
4月								
5月	7		264					271
6月								
7月								
8月	14,672							14,672
9月								
10月	100		10					110
11月	2,179							2,179
12月	3,133							3,133
合計	25,229		304					25,533

16 ハカマ焼き火災

収穫後のサトウキビのハカマ（葉の部分）を処分するために行う野焼きの事を種子島では「サトウキビのハカマ焼き」と言う。
 現在は、ハカマ焼きによる火災件数を減らすため、各市町ではハカマを小さく切り刻み堆肥化する等の指導を行っているところである。

ハカマ焼きが原因となった火災件数

月別 \ 種別	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	合計
1月							
2月						4	4
3月							
4月						1	1
5月							
6月							
7月							
8月							
9月							
10月							
11月							
12月							
合計						5	5